

個別報告 2-1

【成年後見監督人・任意後見監督人】**受任者は毎回記入してください**

報告日:(西暦)2012年 月 日

報告者 (監督人)	受講者番号	都道府県士会
	氏名	

1、概要(毎回記入・データ ベース項目)

ケース番号	No. (前回報告と同じ番号を使ってください)		
報告種別	1 新規受任 2 定期報告 3 終了報告 4 引継完了 5 辞任	終了・辞任の年月:(西暦) 年 月 引き継ぎ完了の年月:(西暦) 年 月 終了・辞任の理由 ()	
本人	性別	男 女	年齢 歳代 前半・後半
	判断能力の障害の種別	1 認知症高齢 2 知的障害	3 精神障害 4 その他() 要介護度もしくは長谷川式スケール、障害程度区分
	現在の居所	1 在宅 (ひとり暮らし・家族と同居・グループホーム) 2 病院 3 施設 4 その他()	
	資産状況 本人(個人)の 資産状況	1 生活保護受給世帯 2 住民税非課税世帯 3 その他	
成年後見人 任意後見人	後見人	1 親族(内訳:) 2 社会福祉士 3 その他(内訳:)	
	就任年月若しくは契約年月	(西暦) 年 月	
申立	申立人	1 家裁の職種 2 本人 3 親族 4 成年後見人等 5 任意後見受任者 6 その他	
審判	家裁	家裁 支部(支所)	
	審判確定年月	(西暦) 年 月	
	監督人区分	1 後見監督人 2 保佐監督人 3 補助監督人 4 任意後見監督人	
	複数後見監督	0 無 1 有り(複数後見の相手)	
報酬	報酬付与	1 報酬付与申立をしたことがある (西暦) 年 月 (直近の付与額を下記に記入) 2 申立中である 0 報酬付与申立をしたことがない(その理由を下記に記入) 1 受任後一年未満である 2 被後見人等が資力に乏しく報酬が期待できない 3 兼業禁止規定との兼ね合い等の職場の事情で申立てていない 4 その他(具体的に:)	
	直近の付与額	▶月額平均 1万未満 1~2万未満 2~3万未満 3~4万未満 4~7万未満 7万以上	
備考			

個別報告 2-2

報告者氏名

ケース番号

No.

2、申立～選任の経緯（初回報告のみ記入ください）

- ・ 本人の氏名、住所地、利用施設（機関）、援助者等の氏名、所属先名称等の固有名詞は、原則として無作為のアルファベットで表記し、個人、地域、施設等が特定されることのないように記載してください。

監督申立・選任時の本人の状況	
監督申立の理由・経緯	
	申立から審判までの期間：約 ヶ月
選任の経緯	

報告者氏名

ケース番号 No.

3、後見人・本人の状況および後見活動の内容

(該当項目にチェックが入った場合は必ず具体的状況を記載してください)

後見人との連絡等の頻度について	実施回数は、 過去6カ月間に() 回	(回数が『0』の場合は、以下に理由を記述)
被後見人の心身状況について	心身状況で気になることが 1 ある 2 ない	(ある場合は、以下に具体的内容と対応方法を記述)
被後見人の経済状況について	収支は 1 黒字である 2 ぎりぎりである 3 赤字である 4 不明である	(赤字・不明の場合は、以下に今後の対応について記述)
報告者と後見人との関係について	後見人との関係は、 1 良好である 2 良好ではない 3 その他	(良好ではない場合は、以下に状況を記述)
報告者と関係機関等との連携・調整について	関係機関との連携や調整は、 1 良好である 2 良好ではない 3 その他	(良好ではない・その他の場合は、以下に状況を記述)
家裁への報告状況について	直近の報告年月(西暦) 年 月	(1年以上報告していない場合、以下に理由と今後の報告予定を記述)
その他、活動上の課題	都道府県士会ばあとなあに 対して、後見活動上の疑問 点や質問が ある ない	(ある場合は、以下に内容を記述)
現在の後見監督活動の計画・内容 必ず記入してください 終了報告の場合は終了事務の報告、辞任の場合は辞任に至った経緯と引き継ぎの状況		